

## 令和4年度第7回田上町教育委員会定例会会議録

1. 開会年月日 令和4年9月27日 午後2時00分
2. 開会場所 田上町役場 会議室2
3. 出席委員 教育長 安中 長市  
教育委員（教育長職務代理者） 石田 一平  
教育委員 山田 正夫、齋藤 美里、渡邊 悦子
4. 欠席委員 なし
5. 職務のため出席した者  
事務局長 時田 雅之、指導主事 佐藤 春男、局長補佐 諸橋 弘樹
6. 会議に付した事件
  - (1) 町民体育館の方向性
  - (2) 諸報告
  - (3) その他
7. 会議の経過及び結果  
令和4年9月27日午後2時00分、令和4年度第7回田上町教育委員会定例会の開会を宣言した。本会期を1日と提案し、了承され決定した。本日の会議録署名委員に山田委員を指名した。

教育長 議事に入る前に一つだけ、齋藤委員の方から報告をお願いします。成績表は出ているんですが、私も町長も出れなかったものですから。齋藤委員より第1回加茂南蒲小学校親善陸上大会に出させていただきました。当日の様子を報告願います。

齋藤委員 9月14日、天気の良い日に加茂市の陸上競技場で行われた陸上大会に参加してまいりました。当日は羽生田小学校がコロナで参加できなく、校長がとても残念がっておりました。

加茂市長からは、「出れなかった羽生田小学校の子どもたちの気持ちも思いやって欲しい。」と挨拶がありました。

子ども達は元気よく、どの学校の子も堂々と競技に臨んでいました。成績表にもありますが、田上の子ども達がとても頑張ってくれて、特にリレーでは女子が2位、男子が1位でした。今までは田上が勝つか羽生田が勝つか限られた中での陸上大会でしたが、400mトラック、それも8レーンあ

る中で勝った、これだけの観戦がある中で勝てたというのは、子ども達にとって格別だったのではないかと思います。

加茂市の山川教育長さんと話しをする機会があったのですが、加茂市は学校別にウェアを用意していたらしいのですが、田上もあると思っていなかったという事で、今回は体操着にしましたと話しをされていました。体操着ですと、上は白で下は紺色という学校が多いので、どこの学校の子か分からない、リレーだとどこの学校が早いのか分からないというような保護者の声もありました。来年からは見分けがつくような工夫をされるという事を聞いております。

本当にいい大会でありました。

教育長                    ありがとうございます。ウェアの事は分かりませんでした。私どもの学校は両校とも少し色が違いますからね。それで区別がついたんで、色まで考えておりませんでした。この件は小学校長会で検討していくのではないかなと思います。

報告ありがとうございました、何かご質問等ありますか？

石田委員                    ギャラリーではどのような感じでしたか？

齋藤委員                    親御さんの観戦は場所が決まっていて、平日の昼間だったのですがかなりの人数がおられました。6年生だけの大会でしたが、お父さん達もたくさん見えられておりました。

ただ、声は出せないので拍手をされておりました。でもギャラリーがいるので子ども達は観客の中で成績を出すことを感じられたんじゃないかと思います。

石田委員                    来年は声が出せるといいですね。

教育長                    ありがとうございました。

それでは議事に入りたいと思います。大きな課題です。町民体育館の方向性ということで局長から説明してください。

局長                    では、私の方から町民体育館の件で説明させていただきますが、議会の社会文教常任委員会からは方向性を示すようにと言われておりました。お盆過ぎに県内 2 市の体育館へ視察に行ってきましたまとめと、その後に町長、副町長、総務課長と財政担当から入っていただき、町体の今後の方向性について打ち合わせを行いました。明日、9月28日に社会文教常任委員会が開催され体育館についての報告をいたしますが、その資料について説

明させていただきます。

まず資料の最後のページをご覧くださいなのですが、廃止と改修についてどういった課題があるかを洗い出しました。廃止につきましては、現在の町体の利用状況を見ますと空きがない状態で、多くの方から利用いただいております。新規で利用したい声があっても応えることができない状況であります。団体の活動場所の確保に努めて行かなければならないと思っておりますので、廃止については考えておりません。

続いて改修であります。当然のことながら新築するよりも安価にすむと思われ。視察先の体育館で改修を行った施設もありました。確かに素晴らしい体育館に改修されておりました。しかしながら、町の体育館については建設後約50年を経過しており、改修を行った場合に今後何年使えるのか、またニーズに応えられるだけの改修ができるかといわれると、少し難しいのではないかなと思われ。一番の課題と認識している事として駐車場の問題があります。避難所の指定にもなっていることから、ある程度の駐車スペースを確保することが必要だと思っておりますが、今の体育館を改修しても、保有面積の関係から駐車場の問題を解消することができません。

以上のことから、教育委員会としては廃止・改修にかかる課題などを検討した結果、移設による新築を今後進めていきたいということで、協議をさせていただきました。打合せの中では、町民体育館以外にもごみ焼却場の建替えなどを控えていることから、今後は財政状況を考慮しながら計画を示していきたいと思っております。ただ、今回情報の共有と協議をしたことにより、一定の町の考え方について方向性を出すことができました。

では簡単に資料の最初から説明をさせていただきます。1ページ目には今の町民体育館の概要をまとめてあります。構造・面積などについて記載されておりますが、当時の事業費としましては137,360千円ということになっております。財源としては、起債で92,000千円、国庫補助金で10,000千円、残りは一般財源でありました。

計画構造という項目ですが、当時のパンフレットに記載してありましたのでそのまま転記したのですが、おそらくコンセプトという意味合いではないかと思います。「田上町の発展の象徴として、外観においては波間より朝陽が昇らんとしている気運を画き、内容においては町民の体育の振興

と福祉の増進を充分意図したものである。」という事であります。工期については、昭和47年5月31日から昭和48年7月4日までという事で、建設から約50年を経過した建物であります。

2ページ目になりますが、今の施設としまして問題点・課題などをここで記載しております。

3ページ目には施設を改修した場合の概算事業費をまとめてあります。合計しまして314,616千円となっておりますが、機能を維持し最低限使用できるまでの改修費という事であります。※印のところで書いてありますように、概算事業費には設計費、耐震診断後の改修工事費、サッシ類や内装工事などの経費は含まれておりません。メリット・デメリットについては、耐震改修工事にかかる経費、工事期間中の周辺施設における影響、駐車場の問題と3点ほど記載いたしました。

4ページには新築についての概算事業費をまとめてあります。視察先の体育館を参考にして業者より見積もっていただきました。また、6月議会の一般質問において、学校のプール施設に対する質問を頂いたことから、体育館とプールの複合施設についても検討しております。それが5ページにまとめてあります。こちらについては、かなりの事業費となることから、複合施設を建設するには財政的に厳しい状況であります。

6ページから9ページにかけて、視察先の体育館の状況をまとめております。10ページからは、これらの検討結果から町の方角性として、冒頭でもお話ししましたが、移設による新築ということで結論付けたことをまとめました。

あとは、視察での写真などを添付しております。説明は以上です。

教育長 最初に石田委員からお聞きしたいのですが、どう思いますか。

石田委員 視察先の写真を見ますと、田上の町体と同じような外観のところがありますが、もう一つは少し小さい感じがします。見た感じはそれぞれどのような感じでしたか。

局長 小さく感じる施設の方ですが、こちらは新築の建物になります。バスケットコートが2面とれますので競技場面積としては町体とさほど変わらないと思います。一番違う面としては、町の体育館は競技場の周りに用具室や廊下がありますが、それがなかったという事で小さく感じるのだと思います。用具室は別にありましたが、十分なスペースを確保し効率的な配置

が取れていました。

あと、ステージが町の体育館よりもだいぶコンパクトにまとめてありました。

石田委員　私が良く利用する体育館が町外にあるんですけども、体育館というのは大きさよりもアイデアだと思うんです。そこにはランニングコースも整備されていますが、幅がそんなに広くない。ゆっくり歩いている年配の方がいたり、スピードを出すランナーがいたり、ちょっと怖いけれども。お金の面を考えると、アイデアを出していくしかないかな。事業費も大分かかりますしね。

局長　視察したところはいずれも素晴らしい体育館でした。改修1箇所、新築1箇所を伺ってきたのですが、建物以外に私どもがこだわっているのは、駐車場のスペースであります。駐車場については、どちらも十分な広さを所有していました。

教育長　山田委員、どうですか。

山田委員　改修ではなくて移設新築ですよ。将来的にはいいと思うのですが、新築といった場合の内容ですよ。どういう形にするのか、そこまで提案があればいいですよ。競技場の面積や、2階の観覧席のことなど。そういうところまで出していただくと、こういう建物ができるのかと分かりやすいイメージしやすいですよ。今の資料では移設して新築することは理解できても、規模が分からないので少し残念ですよ。

石田委員　将来像が少し見えないんだよね。

局長　今のご意見ですが、そういったイメージ的なものも出したいのですが、まずは今の体育館の在り方をどうするのか。廃止なのか改修なのか、新築をするのかという方向性を出すことが目的でありました。具体的なイメージまで出すには基本計画の策定や概算設計などをしないと出せません。予算が何も無い中では方向性までしか出せない状況です。

石田委員　将来、そこを使うような人が納得できるような文言などがあつたらと思つたのですが。明るいイメージが出せるような文言など。

教育長　私から話をさせてください。この3年前までは新築なんて無理なんだろうというのが教育委員会の考えでした。財政的にもものすごく厳しくて、正直言うと今のところが使えなくなったら、廃止も考えなくてははいけないなと、体育館がないという状況も考えなくてはならないと思つていました。

石田委員の言う事はもっともなんです、今私たちが出来るのはここま  
でが精一杯です。まずは視察先の規模を見ながら概算事業費を出さなけれ  
ば、町の財政上の計画が作れない。細かいところまで出せばいいんです  
が、夢だけ先行させても現実から離れて行ってしまう。

明日、ここまでの内容で議会の委員会へ出したいと思います。齋藤委員、  
どうですか。

齋藤委員 視察先の状況をまとめた資料の中で一番びっくりしたのが、平成の時代  
に建設されたものでも、統廃合などで廃止を検討しているという状況があ  
ること。

町の施設の使用状況が分からないので何とも言えませんが、田上は交流  
会館がありコミセンがあり武道場があります。それぞれこんな競技ができ  
るとか、こんな使い方ができるとか、もっと周知みたいなものがあったも  
いいのではと感じています。集約することが全てではなく、各施設の周知  
をもっとしてもいいのではないかなど。

教育長 今の件、補佐どうですか。

局長補佐 各施設で出来ることが違いますので。武道場であればバレーができない  
とか。団体の方で理解して申し込んでいると思います。例えば、小学校の  
体育館は子どものバスケットは出来ますが、大人のバスケットはゴールの  
規格が合わないとか。

あと、中学校の体育館は2階がランニングできるようになってはいます  
が、学校開放では個人の利用はできないなど。

教育長 もし町の体育館がなかったら、今利用している団体は小中学校の学校開  
放に振り分けることになりましたが、恒久的になんてできませんよね。ちょ  
っとの間であれば我慢できるかもしれません。

齋藤委員 スポーツ以外の団体で利用することはありますか。

補佐 交流会館ができてからはありません。ただ、竹の友幼稚園が運動会で利  
用するくらいでしょうか。

教育長 運動会で利用するのは、竹の友とルーテルですよ。

石田委員 今時の体育館はステージがないですよ。あっても小さい。ほとんどが  
ステージないですよ。体育の利用に特化させてますよね。

局長 昔は体育館でのスポーツ活動は当然ですが、催し物を行う場所としての  
意味合いも強かったんだと思います。今のように交流会館、保健センター、

コミセンなどという場所がありませんでしたから。

石田委員　　今回は体育や福利厚生に特化した利用ができる建物を作ることができればいいですね。

補佐　　成人式、文化祭などは、すでに交流会館で実施しておりますし、産業まつりが今年初めて交流会館でやりますので。少しずつ実績はできてきています。

教育長　　渡邊委員、どうですか。

渡邊委員　　候補地はどのようになるんですか。

教育長　　それはまだ答えられません。

石田委員　　駐車場のスペースとしてどのくらい必要と考えているんですか。

局長　　少なくとも 100 台は止められるスペースは欲しいと思っています。大会等を行えば 100 台は少ないかもしれませんが。ただ、その用地を常に持っているのは少しもったいない。平日に満車となることはあり得ませんから。

教育長　　今後どのような建物を建てるのかを考えて行かなくてはなりません、今の体育館をどうしていくか。安全性の確保もそうですし、使っていく上で天井板の問題も解消しなければなりません。今まで使ってきているので、直ぐに閉める事はなかなか難しいのですよね。

石田委員　　安全基準の話ですか。何かあったときに安全基準が満たされていない施設で問題があったらどうなのかということなのか、それとも今の施設を維持していくためにどのような方法があるんだろうということですか。

局長　　どちらにも関わる話ですが、一番問題なのは天井部分で木毛板という板を使っているのですが、落ちないという保証はどこにもない。議会の方からも指摘されています。昨年度の調査の中でも業者の報告書の中に特定天井という言葉が出てきています。今後使っていくのであれば、安全性を確保する必要があると考えています。

石田委員　　今の天井の形状が一番揺れに強い構造なんですよ。アーチ型というのが。落ちてもいい養生をするのか、落ちないようにするのかどっちですか。

局長　　議会からは落ちる以前に、安全性が保たれているのかという事。ネットを張ることも検討したようですが、支持するところが受けきれない。

石田委員　　これは養生は出来ませんよね。

局長　　これを解消するには、資料の 3 ページに書いてある経費が必要となります。落下防止で 134,750 千円。さらに床も耐えられないので、床改修で 91,685

千円と大きな事業費が必要となります。改修期間も必要となりますし。

石田委員 去年も廃止の検討の話は出ていましたよね。

山田委員 公民館のパターンと同じような感じですよ。

石田委員 天井の内張りの強度は測れませんよね。そもそも安全基準のデータがあるのかどうか。

教育長 けれども検査の検討は続けて行かないとですよ。

局長 点検の検討は引き続き行います。いずれにしても全面を調査することは難しいと思われま。

教育長 明日、社文の委員会で説明させていただいて、その後に全協でまた説明することになるかと思ひます。

それでは報告事項になります。佐藤指導主事お願いします。

佐藤指導主事 田上の12か年教育の評価と展望という事で、たくさんご意見を頂きました。最後に各小中学校長から目を通していただいてご意見をいただき、誤字等の確認もしていただきました。

これを作って終わりではなくて、幼小中の先生方に1冊ずつ配布させていただいて、自分の授業改善、学校運営に活用していただこうと考えております。

教育長 ということで、ここで承認を頂いて今月の終わりから来月の始めくらいに配りたいと思いますがよろしいでしょうか。（「はい」の声あり。）

続きまして、9月議会でいくつか一般質問がありました。一つは町の防災教育についてであります。県北の豪雨がありましたので、マイタイムラインの必要性について質問がありました。その中で特に子供向けの表があるので、それを使ったらどうかというものであります。大変参考になるので、学校に紹介させてもらおうと答弁いたしました。

それからコロナの第7波についての学校対応を問われました。特に抗原検査キットとPCR検査を定期的実施する必要があるのではと。答弁としては、定期的な、例えば1ヶ月に1回、1週間に1回というような検査は考えていない。ただ、各学校に50から100くらいのキットがあるので、感染拡大が起きそうな時や教師が早く職場復帰できるために使っていると答えました。

それから駅伝大会について盛り上がり欠けているのではと。改善策が必要とのことでしたが、今後対応を考えて行きたいと答弁しました。



自殺対策についてですが、子どもに対してどのような対応をしているのかということで、各学校とも児童生徒の学年に応じた色々な対応をしていると。子ども達だけではなく職員の研修も必要ではないかと言われましたので、職員の研修もしっかりとやっていきたいと答えさせていただきました。

小学校の統合を考えなくてはという意見が、決算委員会の中でありました。児童生徒数や校舎の問題もありますが、一方で 150 年を迎える歴史がある学校なので、まずは教育委員の中で考えて行きたいと、大きな課題であると答えさせていただきました。

国葬についての質問もありました。教育委員会としては学校へ半旗や黙とうの指示はしないと答えました。

11 月 12 日、羽生田小学校の 150 周年があります。教育委員へ案内が来ますので参加をお願いします。

他に事務局で何かありますか。

局長 10 月 15 日、16 日と文化祭があります。それと 10 月 23 日に防災訓練があります。

教育長 それでは、第 7 回田上町教育委員会定例会を閉会いたします。